



## 平和の誓いを新たに

7月15日、自治センターで村平和祈念戦没者慰霊祭が行われ、遺族や関係者約90人が参列しました。

式では出席者全員で黙とうを行い、東出村長は式辞で戦没者に追悼の念をささげ、「戦後70年を迎え、遺族の苦労と努力に敬意を表すると共に、平和の実現に全力を尽くす。」と、平和と村のさらなる発展を目指す決意を示しました。

村遺族会松澤武志会長が謝辞を述べ、「戦争の記憶を消さぬよう努力する。」と平和への思いを誓いました。

今年は、戦後70年の節目の年にあたり、出席者には村の戦没者名簿をまとめた冊子が配布されました。

## 夏の夜を楽しむ 商工会夏まつり

7月17日、第28回商工会夏まつりが自治センター前駐車場で開催されました。午後5時に開催を合図する花火が打ち上げられると、会場には多くの村民が訪れ、生ビールやジュースを飲みながら、夏の夜を楽しんでいました。

ステージでは、新篠津中学校音楽部のマリンバ演奏や子供らのジャズダンスが披露されました。会場には、商工会女性部のスタッフが腕を振るい、おでんやかけそばなどを販売。テント前は多くの人々が並びました。

昨年に引き続き現金のつかみどりも行われ、抽選で参加者が決まるたびに会場から歓声が上がっていました。



## 楽しく交流「つむぎ祭り」

7月21日、新篠津つむぎの家でつむぎ祭りが開催されました。

今年で2回目の開催となりましたが、今回は地域との交流をメインテーマとし、たかくら保育所に通う園児14名が初めて参加しました。

つむぎの家相談員の天坂さんは、「今後も多くの方と交流して、デイサービスをわかってもらいたい。」とお話してくれました。

また、園児たちは「楽しかった！また遊びたい！」とお祭りを満喫した様子でした。

## 村をPR「厚別区民まつり」

7月24日～25日、札幌市ふれあい広場あつべつをメイン会場に「第26回厚別区民まつり」が開催されました。

このイベントには、役場担当者やJA新篠津女性部直売部会の方たちが汗をぬぐいながら、村内産のキャベツ、ブロッコリー、トマトなどの野菜を販売し、村をPRしていました。

この日は、天候に恵まれて気温も高く、祭りを楽しみにしていた来場客が多く見られ、予定よりも早くにすべての野菜が売り切れるほどの大盛況ぶりでした。

